

第5章 目標

第5章 目標

1 目標の設定

本計画の将来像を実現するため、今後 10 年間の目標として以下のとおり設定します。また、目標の達成状況を量るため、計画期間最終年度である令和 11 年度（2029 年度）を目標年度とする評価指標を設定するとともに、各分野ごとに調査項目を設け、これらの結果をあわせ、中間評価、最終評価時に目標の達成状況を評価します。

自然

《目標》

森林・草地などの自然環境を適切に維持保全していきます。

《評価指標》

みどりの量

現況値 33,624ha (R1) ⇒ 現況値以上 (R11)

【現況値の設定について】

- 札幌市の都市計画区域における緑被現況を航空写真より把握した面積です。（撮影時期：R1 年 8 月 解析手法：近赤外航空写真を用いた解析）

【目標値の設定について】

- 本計画では、積極的に公園等の取得を行うよりも、今あるみどりの魅力向上に重点をおく為、目標値は、現況値以上とします。

間伐などにより適切な手入れをした都市環境林の面積

（人工林対象面積：約 890ha）

現況値 97ha (H30) ⇒ 400ha (R11)

【現況値の設定について】

- 平成 25 年度から平成 30 年度まで（6 年間）の間伐実績面積です。

【目標値の設定について】

- 樹林密度の高い都市環境林人工林（約 890ha）のうち、約半数の 400ha を、良好な森林として維持すべき樹林地とし、間伐等を実施することを目標とします。

〈調査項目〉

■ 緑被現況調査

〈調査方法〉

- 都市計画図作成範囲の航空写真を活用し、緑被率を把握します。
- 調査は概ね3年毎に実施します。

■ 都市環境林整備状況調査

〈調査方法〉

- 間伐等面積を集計し、都市環境林の手入れ状況を把握します。

■ 市内の動植物の分布調査

〈調査方法〉

- 「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」の結果を市内の動植物の分布状況の把握に活用します。
-

《目標》

公園などのみどりで都市の安全・安心を高め、
潤いや賑わいを創出していきます。

《評価指標》

都心部の公共施設や民間施設の緑化が足りていると感じている
市民の割合

公共施設現況値 38% (H30) ⇒45% (R11)
民間施設現況値 32% (H30) ⇒40% (R11)

【現況値の設定について】

- 平成 30 年度に実施した「第4次札幌市みどりの基本計画策定のための市民アンケート調査」において、「都心部の公共施設や民間施設の緑化が足りていると思いますか」という設問に対し、「足りていると思う」「どちらかといえば、足りていると思う」と回答した割合です。

【目標値の設定について】

- 今後、都心部の公共施設、民間施設の緑化を進めていく方向性であるため、満足度が上昇すると考え、約2割の上昇を目標値として設定します。

公園のバリアフリー化率

- ・トイレ：現況値 37% (H30) ⇒50% (R11)
- ・うち主要公園トイレ：現況値 64% (H30) ⇒85% (R11)

【現況値の設定について】

- ・公園トイレ全棟数のうち、バリアフリー化*されたトイレの棟数の割合です。

【目標値の設定について】

- ・年間 10 棟（主要公園は2棟）程度の更新をすることを目標としています。
- ※主要公園のトイレのうち、特に観光客などの利用の多いトイレについては、バリアフリー化 100%を目指します。

* バリアフリー化：車いす利用者が円滑に移動し、利用できるように施設の改修を行うこと。

〈調査項目〉

■市民アンケート調査

〈調査方法〉

- 平成30年度に実施した、「札幌市みどりに関する市民アンケート調査」と同様の調査を令和5年度、令和10年度に実施します。

※「札幌市みどりに関する市民アンケート調査」とは

- 札幌市民のうち、20歳以上の男女3,000人を対象に、区、性別、年代の3要素のバランスをとって無作為抽出し、市のみどりに関する評価等について、市民意識を把握し、計画の見直しや充実化の取組みの参考とするためのアンケートです。

■公園バリアフリー化実施状況調査

〈調査方法〉

- 札幌市において毎年実施している公園のバリアフリー化実施状況調査より、バリアフリー化されている園路広場(H30：79%)、駐車場(H30：57%)とトイレの割合を把握します。
※園路広場、駐車場は各施設が存在する公園のうち、1箇所でもバリアフリー対応となっている公園数の割合を把握します。
※トイレは、全棟数のうち、バリアフリー対応トイレの割合を把握します。
※主要公園トイレは、全総合公園（10公園）、運動公園（農試公園、屯田西公園、手稲稲積公園の3公園）、特殊公園（大通公園、創成川公園の2公園）のトイレとします。

■民間活力の導入状況調査

〈調査方法〉

- 市内の公園における年度毎の Park-PFI の導入件数を把握します（現況値は0件）。

■公園の防災に資する機能配置調査

〈調査方法〉

- 公園に設置されている防災に資する機能である、防火水槽（131件/H30）、貯水槽（21件/H30）、雨水貯留量（50,425 m³/H30）、防災資機材保管庫（673件/H30）などの設置件数を把握します。
- 公園で町内会などが実施している防災訓練の回数（94件/H30）を把握します。団体等による公園利用時には「公園利用届出等」を事前に提出することとしており、その活動内容から防災訓練の件数を把握します。

■緑視率調査

〈調査方法〉

- 平成 23 年度に緑視率調査を行った調査地点（39 カ所）を基準に、緑視率の変化を把握します。
- 令和元年度に 50 箇所について実施しており、令和 5 年度、令和 10 年度にも実施する予定です。

※緑視率とは

緑視率とは、人の視界における草木、すなわち緑の多さを計る割合のことです。

$$\text{緑視率} = (\text{緑の面積}) \div (\text{撮影範囲})$$

みどりを眺めることによる心理的・生理的効果が安らぎを与え、身近な緑に対する生活者の満足度を反映する指標として、兵庫県西宮市をはじめ、大阪府、京都府などでも採り入れられてきています。

■利用者数調査

〈調査方法〉

- 再整備実施公園を対象に、整備前年と整備翌年に利用者数調査を行い、再整備前後の利用変化を把握します。
- 平成 30 年度に再整備した 35 公園を対象に、平成 29 年度と令和元年度に実施しました。
- 令和 4 年度と令和 9 年度に再整備する公園を対象に、実施する予定です。

■公園整備に関する満足度調査

〈調査方法〉

- 平成 30 年度に行った「公園整備に関する評価調査」において、平成 29 年度に再整備等が完了した公園について、その周辺住民に対しアンケート調査を行いました。
- 「公園について全般的な印象は良くなったと感じますか？」という設問に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合（H30：76%）から、再整備された公園に対する満足度を把握します。
- 調査は令和 5 年度と令和 10 年度に実施する予定です。

《目標》

市民がみどりを守り育て、ふれあうための取組を活発にしていきます。

《評価指標》

みどりづくりなどに参加した市民の割合

現況値 56.1% (H30) ⇒現況値以上 (R11)

【現況値の設定について】

- 平成 30 年度に実施した「札幌市みどりに関する市民アンケート調査」において、「この1年間に、市内の公園などでのみどりづくりやイベントに参加したことがありますか。」という設問に対し、6つの項目のうち「森林やみどりを保全するための募金や寄附を行った」を除く一つでも参加したと回答した割合です。

【目標値の設定について】

- 少子高齢化や、近年の余暇の過ごし方の多様化等から、現況値以上とします。

コミュニティ活動に関する公園利用届等件数

現況値 1,967 件 (H29) ⇒現況値以上 (R11)

【現況値の設定について】

- 平成 29 年度に団体等から公園利用時に提出された「公園利用届等」に記載された活動内容のうち、地域イベントや祭り、住民活動等のコミュニティ活動の件数です。

【目標値の設定について】

- 町内会加入率の低下傾向や、それに伴う町内会活動の停滞等から、現況値以上とします。

〈調査項目〉

■市民アンケート調査

P67 に記載

■ボランティア登録者調査

〈調査方法〉

- ・公園ボランティア（2,373 人）や森林ボランティア（1,120 人）、タウンガーデナー（308 人）、指定管理による公園のボランティア（1,326 人）について、新規登録者数や属性、活動内容などを把握します。

※登録人数は平成 30 年現在

- ・令和 5 年度、令和 10 年度に実施します。

■公園利用届分類調査

〈調査方法〉

- ・団体等による公園利用時には「公園利用届出等」を事前に提出することとしており、その活動内容から地域イベントや祭り（919 件）、住民活動（887 件）、ボランティア活動（50 件）等のコミュニティ活動の件数を把握します。

※届出件数は平成 29 年集計時

- ・令和 5 年度、令和 10 年度に実施します。